

# あそびのしじい

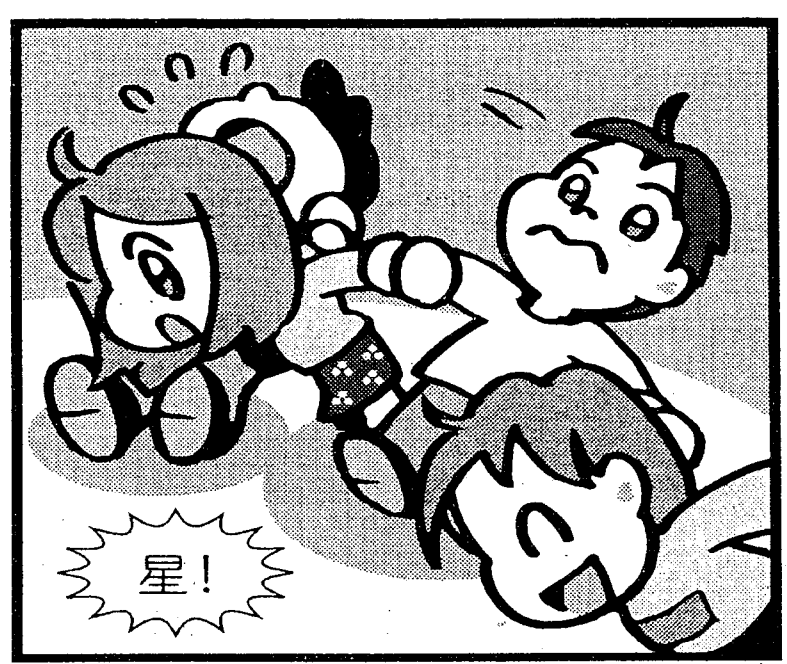
2005  
12/25(日)

## 支え合って光り輝く

### キラキラ星

「枯れ木も山のにぎわい」 など一緒に遊んだので楽し  
ではありませんが、遊びは人 かった」といった体験をたく  
数が多いほど楽しくなりま さんさせたいものですね。今  
す。子どもたちには、初心者 回は、みんなで力を合わせた  
やバテランに関係なく、「み 結果の達成感が味わえる遊び  
がよいのですよ。

の紹介です。それぞれがどん  
な役割を担い、どんな方法で  
進行するかをみんなで考えま  
しょう。並び方や手の握り方、  
足の開き方など、試行錯誤の  
末に「できた」瞬間は気持ち



- 【人数】 偶数の人数で10人以上
- 【場所】 教室など
- 【道具】 なし
- 【遊び方】
- ①みんなで手をつなぎ、大きな輪をつくる。
- ②「キラ」「星」「キラ」「星」…と順番に声を掛け、「キラ組」と「星組」に分かれる。
- ③全員、肩幅に足を開く。このとき、両隣の人と手をしっかり握っていることを確認する。
- ④リーダーの「キラ！」の合図で、「キラ組」の人は体を真っすぐにしたまま、ゆっくり後ろ(外側)に体勢を傾けていく。同時に、「星組」の人は体重を前にかけて、ゆっくり前(内側)に体勢を傾け、「キラ組」の人とのバランスを取る。
- ⑤「キラ組」も「星組」も、自分と相手の体重のかけ方に注意し、バランスを保つ。
- ⑥続いてリーダーの「星！」の合図で、今度は「キラ組」が内側へ、「星組」が外側へ体勢を傾ける。
- ⑦何度か繰り返すと、一人一人が自分の体重とみんなのバランスを考えて支え合うからこそ「キラキラ星」は輝くということが実感できる。

九州あそびの研究所・中島宏所長  
問い合わせは092 (882) 0363

